

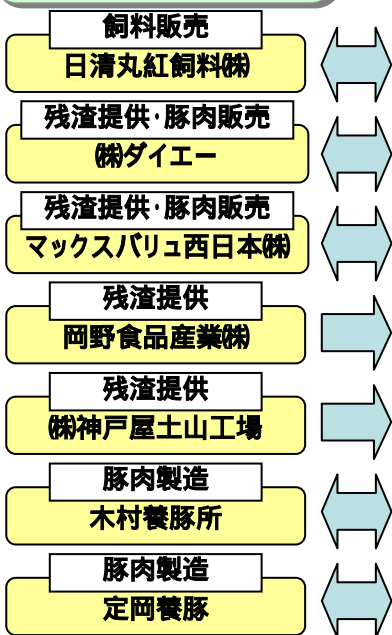
地域	兵庫県加古郡	認定日	平成20年3月31日	5 - 19 - 087
事業分類	製造(食料・飲料・飼料)	テーマ分類	リサイクル	

事業名:安全安心の「霜降り豚肉」などの製造管理システム開発とエコフィード循環事業及びそのFC事業

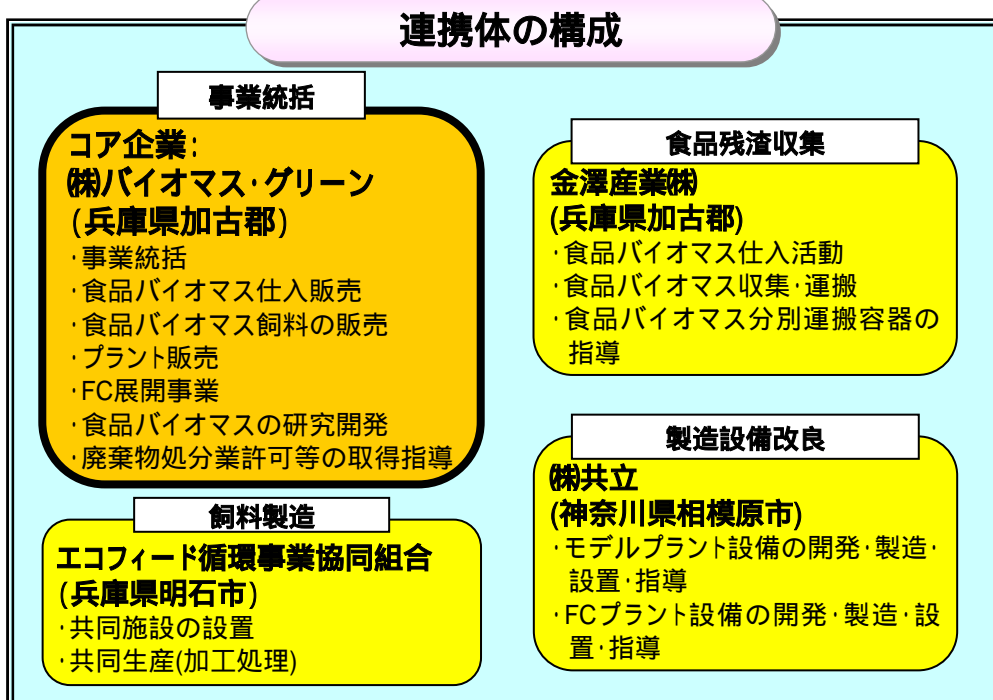
事業概要(新規性、市場性等)

- ・食品業者が出す食品発生物を未利用資源として、肉豚肥育用飼料「エコフィード」を製造、販売する。
- ・さらに、エコフィードで肥育生産された豚肉を食品発生物排出元の食品スーパーで販売し、循環型プロセスを形成する。この循環型プロセス全般を安全安心な食品製造の生産管理システムを通シマネジメントすることで、安全安心な高級豚肉の販売事業をサポートしていく。
- ・このシステムを導入することで、平成19年の食品リサイクル法改正によって食品業者に課せられた食品のリサイクル実施率を向上させることができ、食品のトレーサビリティによって安全性の確保が可能となる。

事業推進体制



連携体の構成

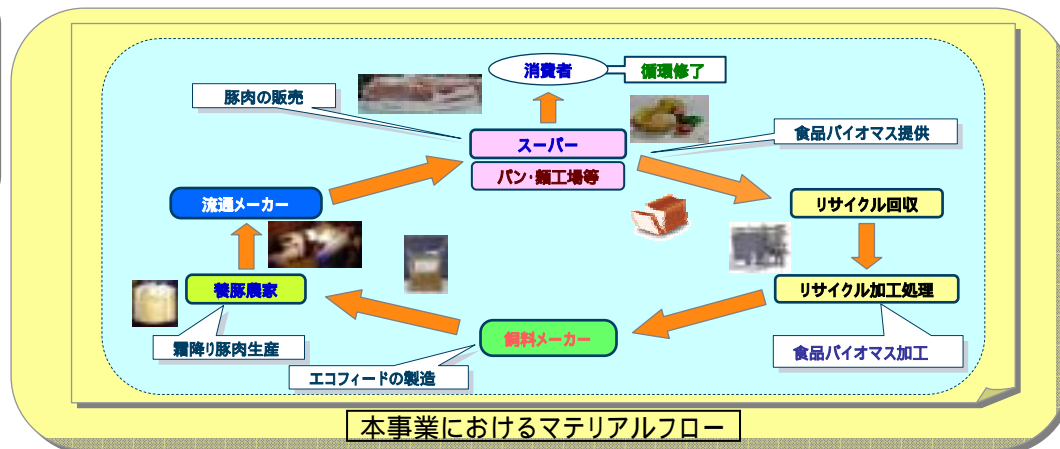


支援予定メニュー

- 補助金
- 低利融資
- 信用保証
- 設備投資減税
- 特許料減免

肥育指導
兵庫県立農林水産技術総合センター

アドバイス
宮崎大学農学部



連携のきっかけ、特徴

- ・連携企業のひとつである金澤産業(株)は長年廃棄物処理業務に携わっており、同業界に多くの経験を有している。
- ・同社は、食品リサイクル法施行を受け、食品関連会社との産産連携の調査研究事業を発展させ、産学官連携の食品バイオマス(残さ)の飼料化コンソーシアムを立ち上げた。
- ・このコンソーシアムでの成果物による事業化の統括を目的に、コア企業である(株)バイオマス・グリーンが設立された。
- ・さらに畜産飼料「エコフィード」原料の生産主体として、エコフィード循環事業協同組合が設立された。
- ・本事業のプラントは連携企業である(株)共立が受け持ち、バイオマスの排出状況に合わせて機械を改良していくことに加え、FC展開で排出元の企業の現状に合わせて仕様変更なども同社が行う。
- ・バイオマス供給には、連携外協力者の(株)ダイエーやマックスバリュ西日本(株)等が担当し、両大手食品スーパーのリサイクル率向上に貢献する。また日清丸紅飼料(株)は、技術的な指導とともにエコフィードの原料購入や販売を担当、そして安全安心な肉豚肥育管理ソフト「豚暦」を提供する。
- ・さらに、エコフィードを利用して安全で高品質の肉豚を飼育する養豚業者とも協力関係を結び、そこで生産された豚肉を、前出の大手食品スーパーで販売するという体制を整え、食品発生物から安全安心な高級食肉の販売までの循環型リサイクルネットワークを構築している。
- ・兵庫県立畜産技術センターが高品質の畜産生産技術指導を行い、宮崎大農学部とともに畜産肥育での安全指導もおこなう。

コア企業の会社概要

企業名・代表者	株式会社バイオマス・グリーン 代表取締役 金澤孝	
所在地	兵庫県加古郡稲美町加古3869番地	
創業	平成17年12月	
資本金・従業員数	3,000万1円	1名
業種	リサイクル飼料製造販売	
T E L	079-492-8198	
F A X	079-492-8871	
ホームページ	http://www.biomass-green.co.jp/	
e-mail	kt-kn@nike.eonet.ne.jp	

PR等その他の情報

- ・バイオマスタウンでの持続可能な循環型事業に取り組む、リサイクル事業者・環境関連事業者市場と食品リサイクル市場をターゲットとしています。
- ・認定に至るまでには、全体マネジメントの欠如という高いハードルがありましたが、長崎PMのキツイ指導と献身的な支援により、それを乗り切ることができました。
- ・建築確認も下り、平成20年9月に農水省「強い農業づくりの支援」補助事業によるエコフィード製造モデル施設が完成し、安全安心の食品循環モデル事業の本格スタートの予定。